



# はなさと

第 225 号  
2024/8/01

## 「高齢避難者が帰郷されました。」

能登半島地震で被災し避難されている八名のうち二名の利用者さんが七月十八日、十九日に帰郷されました。最後の挨拶では、長い間過ごしていただいた老健はなさとを第二の故郷とまで言うてくださりました。職員一同別れを寂しく思いましたが、やはり住み慣れた地域で過ごせるようになったことに、とても喜びを感じました。これからもお元気で穏やかに過ごされることを心より願っております。



ご利用ありがとうございました。(\*.v.v.)



## セブンイレブンはなさと良い気分!

コンビニ店のセブンイレブさんが、トラックによる移動販売で老健はなさとに来てくださるようになりました。月曜日13時、水曜日11時、金曜日11時から各1時間、正面玄関入口にてセブンイレブンが開店しています。利用者さんにお買い物を楽しんでもらったり、職員もたまに?!お菓子を買いたい。歩いて行ける距離に買い物をするところが無かったので、とても助かっています。



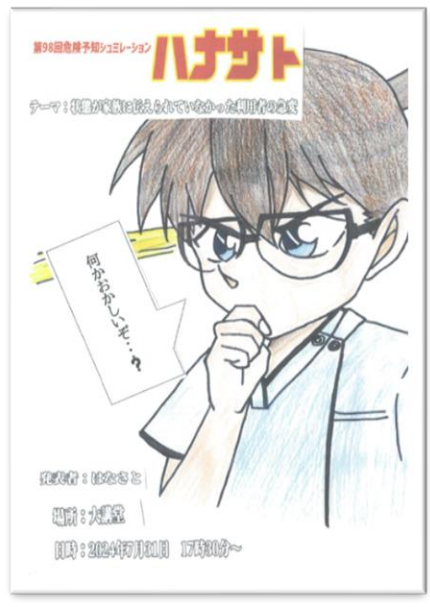
とても綺麗な虹が出ていました♡

セブンイレブン 移動販売車

(月)	13:00 ~ 14:00
(水)	11:00 ~ 12:00
(金)	11:00 ~ 12:00



## 「危険予知シミュレーション」



介護の安全を守る高める取り組みとして、日常の介護のなかに潜む危険を考えたり、過去の経験から危険を回避する術を考えたりしています。このような活動を危険予知シミュレーションと言います。これは高山赤十字病院全体で取り組んでいる活動で、七月は老健はなさとが活動を行いました。テーマを「状態がご家族に伝えられていなかった利用者さんの急変」として、問題がある行動と問題を解決した行動の二つのパターンを考えました。考えたものを、職員スタッフで演劇することで、頭と体にインプットをしました。危険が潜んでいないか、新しく発生しないか、日夜目を光らせていきます。危険を予知して、事前に回避できるような、注意深く介護を行っていきます。



発行担当 事務室